

あと6日の登校で、2学期が終わります。保護者や地域の皆様方には、本校の教育活動に対し格別なるご支援ご協力をいただき、お陰様で無事2学期を終了することができそうです。衷心よりお礼申し上げます。誠にありがとうございました。来年も引き続きご支援ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

人権教育研究発表会

11月21日(火)に文部科学省指定の人権教育、島根県指定の人権・同和教育の研究発表会を開催しました。県内各地よりたくさんの方が研究会に参加しました。3年生と6年生の子どもたちは、それぞれ道徳と社会科の授業を公開しました。



多くの参加者に囲まれながらも、子どもたちは一生懸命に学習し、日頃の学習の成果を發揮してくれました。また、午後は絆創膏の会代表の大湾 昇さんに講演をして頂き、率直でユーモアのあるお話に、あっという間に時間が過ぎました。差別の解決への熱い思い、人権・同和教育の重要性について、心に直に語りかけられたように感じました。私は会場校の校長として、終わりに次のような内容を話しました。

私は、平成28年度に本校に着任し、今年2年目になります。教職についてから人権・同和教育の研修はたくさん受けてきましたが、いざ研究指定校となると、どのように研究を進めていけばよいのか当初悩みました。しかし、今回の機会は「人権・同和教育を教育の基底に据える」という学校経営の基本について、深く考えさせられたよい機会となりました。

人権・同和教育を進めていく上で教職員は誠実に自分を偽らず、子どもに向き合っていくことが求められると思います。子ども達のよりよい成長を願いながら、自分の感性を大切に、自信と敬意を持って教育活動に取り組んでいくことが重要であると思います。教職員自身の自己研鑽があつてこそ、人権・同和教育が充実していくのだと考えます。

また、キーワードとして「隠れたカリキュラム」※ということ、年度当初の職員会で確認しました。全体として子どもたちに伝わっていくものを意識しようとして共通理解しました。職員同士が批判し合う関係でありながら、子どもたちに仲良くしなさいと言っても響かないでしょう。職員同士が敬意と感謝の思いを持って職務を遂行していくことが、「敬意と感謝」の大切さを子どもたちに伝えていくことになると思います。姿や味わいとして伝わる部分を大切にしようとして共通理解しました。『人類は愛せても、隣人は愛せない』という言葉があります。人間の特徴だそうです。それぞれにみな善人で、悲しいニュースを聞けば心を痛める優しさを持っています。人類は愛せるのです。しかし、隣人、自分の最も身近な人にはそうはいかない。そこに差別感情や様々なネガティブな要素が入っていくのだと思います。この視点をもって自己吟味をしていくことが重要だと確認し合いました。それが、子どもたちにきれいごととして伝わるか、真実として伝わるかの境目のように思います。

研究への取組はまだ道半ばです。これからも試行錯誤を重ねていくと思います。しかし、本研究に取り組んで、学校全体の雰囲気、児童の関係性、学習へ

の集中力など、様々な面で手応えを感じています。これは全職員が一丸となって取り組んできた成果だと思えます。今後も一層の取組を推進していきたいと思っています。

終わりにりましたが、これまで2ヶ年の研究の推進にあたり、島根県教育庁人権同和教育課、浜田教育事務所の皆様をはじめ、江津市教育委員会の皆様、ご指導頂いた関係の皆様深く感謝を申し上げ、終わりの挨拶といたします。ありがとうございました。

※隠れたカリキュラムとは、学校の公式なカリキュラム（教育課程）の中にはない、知識、行動の様式や性向、意識や精神性が、意図しないままに教師や仲間の子どもたちから、教えられていくというものである。

第2回東っ子を語る会

11月29日（水）に2回目の東っ子を語る会を行いました。学校の授業の様子を見た後、情報交換会を行いました。全体に非常に落ち着いて学習している印象だったというお声を頂き、大変嬉しく感じました。児童数が減っていくことへの心配や保小中の連携の重要性等についても貴重なご意見を頂きました。学校のことを親身に考えてくださっていることが伝わってきました。今後も健やかな東っ子の育成のため、職員一同一生懸命にがんばっていききたいと思います。変わらぬご支援ご協力の程、よろしく願いいたします。



ミニ・バスケットボール交歓会



11月30日（金）に、ミニ・バスケットボール交歓会が行われました。男子は1勝1敗、女子は全勝するという好成績をあげました。男子の対津宮戦では、白熱したシーソーゲームの末、ゲームセット寸前にひっくり返され、1点差で惜敗しました。悔しさの大きい結果となりましたが、スポーツマンシップにのっとり爽やかな態度で結果を受け入れることができていました。立派な態度だったと思います。特に男子は総勢6名という少人数でありながら、大規模校の津宮小を相手に堂々と渡り合うことができました。きっと、自信になったことと思います。江津東小学校の子どもたちは、やるべき時にきちんと実力を発揮できる集中力が素晴らしいと思います。交歓会に向けてチームワークを高めながら取り組んできた練習、チームメイトを大切にし合い、深めあった絆がこのような成果を呼び込んだものと思います。小学校生活も4ヶ月を切った6年生ですが、この調子で残りの小学校生活を充実させてほしいと思います。



	男子	女子
第1試合	16対10（対高角戦）	23対8（対高角戦）
第2試合	21対22（対津宮戦）	14対8（対津宮戦）

音楽鑑賞会

12月1日（金）に音楽鑑賞会がありました。今年度は石見智翠館高等学校吹奏楽部のみなさんが演奏に来てくださいました。素晴らしい演奏に加えて、楽器の演奏体験や指揮者の体験ができ、子どもたちの思い出に残るものとなったと思います。音楽への興味・関心も、グッと高まったと思います。石見智翠館高等学校吹奏楽部のみなさん、本当にありがとうございました。



なかよし集会（全校）

12月4日（月）になかよし集会が開かれました。なかよし集会では各学年が学級目標やがんばりたいことを発表しました。感想発表では、たくさん手が挙がり、各学年の発表のよいところを見つけて発表していました。『人のよいところを見つける』という力は、人権感覚の中でも特に重要です。その力が感謝や尊敬へとつながり、円満な人間関係へと発展していきます。人も自分も幸せにする力『人権感覚』を養い、これからの学校生活や地域での生活を、もっともっと充実させていってほしいと思います。集会の終わりの挨拶では、次のような内容を話しました。



『人権感覚』はとても大切です。『人権感覚』は、他の人も自分と同じように、いろんな悩みを抱え、日々喜怒哀楽に心を揺らしながら、一生懸命生きていくと気づくところから生まれます。それに気づくと、他者を自分と同じ対等な存在として尊重できるようになり、自然に「自分がされて嫌なことは人にしないで、自分がしてほしいことを人にしよう」という気持ちになります。人の気持ちを理解しようと努めるようになります。できるだけ、人の悪口を言ったり、批判したりしないようになります。人のせいにしたたりすることも少なくなります。さらには、他者を自分と同じ大切な愛おしい存在と感じ、人を信頼しようとし、自分の気持ちを素直に伝えることができるようになります。「きっと分かってくれるはず」と思えるからです。感謝や謝罪も素直にでき、人を赦すことも容易になり、コミュニケーションが円滑になります。仲良しの輪が広がっていくのです。笑顔が表情のベースになり、周りを明るく幸福な空気になります。他の人を、自分と同じ価値ある存在として認め、敬意を持つことができるなら、「今、ここで」縁あって知り合えたことにも自然に感謝できるはずです。

逆に『人権感覚』が薄いと、誰もがそれぞれに荷物を背負いながら、一生懸命に生きているとは思えず、自分自身を特別に感じてしまいます。「〇〇とは違う自分」と捉えるわけです。人権感覚が薄いので「みんな違ってみんないい」とはなりません。自分自身を「特別にできがいい自分」とか「特別にかわいそうな自分」とか、「特別に…」という眼鏡で見て、それを理由に自己正当化を図ります。「自分ばかりが損している」という感覚がつきまとい、自他を比較しては、批判、悪口、責任転嫁を繰り返し、人を都合よく利用しようとし、します。しかし現実には甘くなく、自分の思い通りに事が運ばないため、不平不満が心を占め、感謝などできなくなります。コミュニケーションも表層的になり、つきあいはできても、温かい触れ合いのような関わりは難しくなります。不機嫌が表情のベースになり、周りを暗く陰鬱な空気になります。

江津東小学校のみんなは、そうならないようにしましょう。大人も子どもも、

お互いに『人権感覚』を磨き合い、幸せな空気を広げていくことができるよう頑張っていきましょう。

縦割り班で遊ぶ会

12月6日（水）に5年生がリーダーとなって、縦割り班で遊ぶ会を開きました。どの会場からも楽しそうな声が聞こえ、交流を深めるいい機会になったと感じました。6年生もしっかりと下支えをしてくれたように思います。来年度は最高学年になる5年生は、大きな集会の運営を体験でき、多くの学びを得ることができたと思います。全校のリーダーとして活躍してくれる姿がイメージでき、来年度に向けての期待感が高まりました。



小・中学校合同人権集会（5・6年）



12月8日（金）に小・中学校合同の人権集会（高学年参加）が開かれました。人権について考えを深める良い機会となりました。劇を取り入れた挨拶や楽しいゲームで交流を深めた後、充実した話し合いができたと感じます。中学生が様々な工夫

を凝らして集会を充実させてくれたおかげだと思いました。これらの学びを通して、人権について考え、人権感覚を高め、素敵な学校、校区にしていけたらと願っています。

こども園との交流会

12月11日（月）に、あさりこども園、さくらこども園の園児を招いて、交流会を開催しました。1・2年生が一生懸命準備した催し物により、とても賑やかな楽しい時間となりました。1・2年生も園児が楽しんでくれることが、とてもうれしいようでした。達成感を感じることができたと思います。来年度の再会が楽しみになったことでしょう。



教育実習終わる

10月30日（月）から始まった笠井 美希さんの教育実習が12月1日（金）に終わりました。約1ヶ月の間、1年生を中心に子どもたちとたくさん触れ合い、多くのことを学ばれたことと思います。この経験を生かして、是非教職について、活躍して頂きたいと思います。子どもたちにとっても忘れられない思い出になったことでしょう。

